

農業生産の発展 生活の向上(農民)・財政の安定(幕府・藩) ←太平の世
小規模家族(夫婦中心)による零細な農業経営

① **新田開発** の進行…耕地面積の増大(2約160万町歩→約300万町歩) 新田は数年間は免税

- ・ ^{だいかんみたて}3代官見立**新田**…天領の代官が自ら開発 前期に多い
- ・ ^{かんのいけ}4町人請負**新田**…商人資本 <例>川口新田(摂津)、^{こうのいけ}鴻池新田(河内)

ほか、藩営新田、土豪開発新田、村請新田など

治水・^{かんがい}灌漑の発達 <例>⁵箱根用水、⁶見沼代用水、玉川上水、大和川改修

② **商品作物**の栽培 →各地で特産物に

- { ⁷四木…⁸桑(養蚕→生糸→絹)、⁹楮(和紙)、¹⁰漆(漆器)、¹¹茶(¹²山城・宇治など)
- { ¹³三草…¹⁴紅花(赤の染料：¹⁵出羽など)、¹⁶藍(青の染料：¹⁷阿波など)、¹⁸麻(衣料)

その他 <例>¹⁹木綿(綿花) (朝鮮から持ち帰った種子→衣料の主流 ²⁰河内・三河・尾張)

- ²¹菜種 ^{みずあぶら}(²²水油の原料：中世の荏胡麻にかわって普及)、²³砂糖(奄美大島)、²⁴煙草、²⁵藺草(晷表：²⁶備中)、²⁷木燼(はぜ：ロウの原料)など

③ 技術の進歩

農具 ²⁸備中鍬 …より深く耕す ※従来の鍬(平鍬)は土寄せなどに

²⁹千歯扱 …脱穀(稲から^{もみ}扱へ) ※従来の^{こきばし}扱き箸(別名「後家倒し」)にかわる

³¹唐箕 …玄米・^{もみがら}粃殻を選別 ※従来の箕(み)にかわる ← 大幅な作業効率の改善

³⁴千石筵 …米の穀粒の大小を選別 ←

³⁵踏車…水を揚げる ^{からざお}³⁶穀笊(麦などをたたいて脱穀)、³⁷唐臼(精米)、など

肥料 ³⁸刈敷・厩肥が基本…中世以来 入会地から取得 耕地の増加により不足していく

→ ³⁹金肥 (購入肥料)も使用…商人との取引 ※都市周辺では下肥(発酵した人糞尿)が重要

<例> ⁴⁰干鰯 (主に東国 九十九里浜などで採れたイワシから)、

⁴¹油粕 (主に西国。菜種や綿実から)、^{しめかす}⁴²粕(魚や胡麻などの絞りがす)、^{にしん}鱧粕

※鯨油…除蝗剤(虫害対策)として購入

④ 農書の発達…農業技術の解説

<例> 『⁴³清良記』(1628年頃：土居水也(伊予))

⁴⁴宮崎安貞 (筑前)…元禄期 『⁴⁵農業全書』(1697：商品作物を重視)

⁴⁶大蔵永常(豊後)…江戸後期 『⁴⁷農具便利論』(1822) 『⁴⁸広益国産考』(1859)

ほか『百姓伝記』、『会津農書』、『⁴⁹老農夜話』(1843 千歯扱や唐箕を紹介)

諸産業の発展 ※「日本山海名産図会」(1799)…各地の珍しい名産物を紹介

- A. 水産業 50 **上方漁法** の普及…^{じびきあみ}51 **地引網**や^{ていちあみ}52 **定置網**・^{ふなびきあみ}船曳網などを使う大規模漁法
…^{とん}摂津・和泉・紀伊 ^{あな}53 **網元**・**網子経営**
〈例〉^{いわし}54 **鯛** (^い55 **九十九里浜**)、^{にしん}56 **鯨**・^{えぞち}57 **昆布** (^{くじら}蝦夷地)、^{かつお}58 **鯨** (紀伊・土佐・肥前)、^{かつお}59 **鰹** (土佐)
^{ほたて}60 **俵物** (^{いりこ}61 **いりこ**・^{ほしあわび}61 **ほしあわび**・^{ふかひれの俵詰め}61 **ふかひれの俵詰め**)…東北の産物→清へ輸出

製塩 ^{たか}62 **揚浜** 式から^{いり}63 **入浜** 式(潮の干満を利用)へ
瀬戸内10国で8～9割(十州塩) 〈例〉^{あま}64 **播州(播磨)赤穂**、阿波撫養、讃岐坂出

- B. 林業 〈例〉^{ひのき}65 **木曾檜**、^{あき}66 **秋田杉**・吉野杉・熊野杉)、炭(摂津池田、紀伊備長)
C. 鉱業 中心は金銀から銅へ 露天掘りから坑道法へ ^{はいふき}67 **灰吹法**(銀の製錬:石見銀山から)
金: ^{さと}68 **佐渡相川**、^{いづ}69 **伊豆** 銀: ^{つづ}70 **但馬生野**、^{いし}71 **石見大森**
銅: ^{あし}72 **下野足尾**、^{いづ}73 **伊予別子** (→住友)、^{おさきざわ}74 **尾去沢**(秋田)
鉄: ^{いづ}75 **出雲**(^さ76 **砂鉄**: ^{たたら}77 **たたら製鉄法**)、^{いそ}78 **釜石鉄山**、^{いし}79 **石炭**(北九州)・石油(越後)も

- E. 手工業 ←商品作物の栽培、専門職人の増加、都市需要の増加、諸藩の国産奨励

^い80 **農村家内工業**から^い81 **問屋制家内工業**へ
…自給自足的 …… 問屋商人が原材料や器具を貸す 18世紀以降

- ①織物 **絹** ^{さい}82 **西陣織** (京)→^い83 **桐生絹**(上野)→^{あし}84 **足利絹**(下野) ※^{たか}85 **高機** (新技術)が伝来
ほかに、^{ちりめん}86 **丹後縮緬**、^い87 **伊勢崎絹**(上野)、^{つむぎ}88 **上田紬**(信濃)
綿 ^{かすり}89 **久留米紜**、^い90 **小倉織**、**麻** ^{ちぢみ}91 **越後縮**、^{さらし}92 **奈良晒**、^{じょうふ}93 **近江晒**、薩摩上布
②陶磁器 ^い94 **京焼** (^い95 **清水焼**など)、^い96 **丸谷焼**(加賀)、^い97 **有田焼**(肥前:別名「伊万里焼」)、萩焼
③漆器 ^い98 **輪島塗**(能登)、^い99 **会津塗**、^い100 **春慶塗**(飛騨など)、南部塗(陸奥)
④醸造 **酒** ^い101 **灘**、^い102 **伊丹**、^い103 **伏見**、池田 **醤油** ^い104 **野田**・^い105 **銚子**、竜野(播磨)
⑤製紙 ^い106 **美濃紙**、^い107 **鳥ノ子紙**・**奉書紙**(越前)、^い108 **杉原紙**(播磨)、^い109 **檀紙**(讃岐) ※^いながしすき **流漉**の技術
⑥その他 ^い110 **越中の薬**(富山)、^い111 **備後の畳表**、^い112 **京・加賀の友禅染**、^い113 **尾張のありまつしぼり**、^い114 **有松絞**(藍染)、^い115 **近江蚊帳** などなど

【正誤問題に挑戦】〈センター1991本試験、1993本試験より〉

- ①宮崎安貞の『農業全書』、大蔵永常の『農具便利論』などの農書によって、栽培技術や農業知識が広まった。
②近世を通じて城郭建築が建築資材の需要を高め、秋田の檜、木曾の杉など各地の林業を発展させた。